



2014年1月25日 (土)

記念講演

国会事故調元委員が語る真実
～過小評価される放射線のリスク～

講師：崎山比早子さん

福島第一原発事故から間もなく3年。汚染水問題など、事態の収束には程遠いのが現実です。汚染水の海洋放出が軽々しく言及され、除染作業の不徹底や作業員の被曝が繰り返される背景には、低線量放射線に対する過小評価があります。

2012年7月に公表された国会事故調査委員会報告書が明らかにしたこと、そして、明らかにしなかったこととは何でしょうか。なぜ放射線のリスクは過小評価されるのでしょうか。

国会事故調査委員会元委員の崎山さんにお話をうかがいます。



さきやま・ひさこ さん

1965年、千葉大医学部卒業。
医学博士
放射線医学総合研究所 元主任研究官
国会事故調査委員会 元委員
高木学校メンバー
*高木学校とは…
プルトニウムの危険性を訴え続けた物理学者、故・高木仁三郎氏が1998年に創設した、「市民科学者」を育成するための団体。

あれから三年
福島はいま

開場・受付開始 13時10分～
第1部 友の会総会 13時30分～14時20分
第2部 記念講演 14時30分～16時30分
【会場】ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
10階 大会議室(1001)

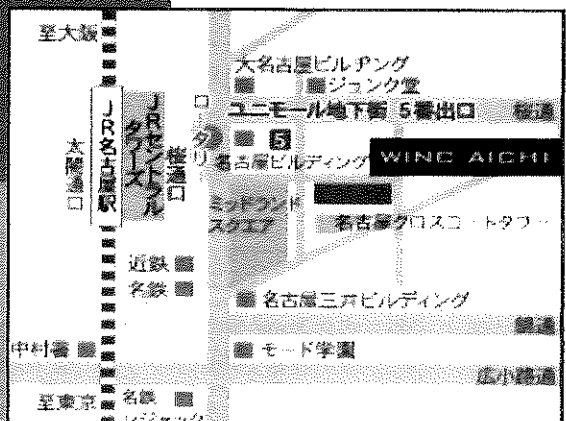
参加無料

参加ご希望の方は、
下記までお申込みください。

主催／弁護士法人名古屋法律事務所
名古屋法律事務所友の会

TEL 052-451-7746 FAX 052-451-7749

E-mail info@nagoyalaw.com



会場へのアクセス